

(一般質問) 救急患者の受入れが困難になる「630問題」(ロクサンマル)の現状と対策は？

「630問題」とは、救急患者の受入れが困難な状況を示す言葉で、具体的には「救急車を呼んだ際、救急隊が受入れ可能な医療機関を探すために病院に照会した回数が6回以上、または病院照会を開始してから搬送先(受入れ可能)医療機関が決定するまでに30分以上要した事案を言います。

医師数・看護師数等の医療資源が少ない富士医療圏(富士市・富士宮市)では、県全体の630事案件数の45~50%(令和4年は643件)を占めています。

(市当局)「630事案の発生時間は、平日では一般診療所が休診(昼休み)となる正午から午後2時まで、救急医療センターが診療を開始する前の午後6時台、終了後の午前8時台に多く発生している。1月からは、まずは平日の正午から午後2時までの時間帯で、内科系、外科系医療機関による輪番体制を構築し、630問題の減少させていく」

(議員)「中央病院の『救急サスペンド』(救急受入れ要請があっても、救急外来が満室または医師・看護師等の人員不足で新たな救急患者の受入れが一時的に困難になる事案)の件数は？」

(市当局)「救急患者受入れを停止した救急サスペンドは、5年3月から9月までに28件発生している」

「医療過疎地域」と言われる富土地域の医療資源(医療機関、医師、看護師等)の脆弱さを痛感するとともに、その改善に向け、議会としても立ち向かっていきます。

■630問題のイメージ(NHK、神戸市のHPより引用)



8~12月の活動 …5月に新型コロナが5類感染症に移行し、3年間開催できなかった様々な取組みが本格的に再開されています！



新々富士川橋期成同盟会で知事・県議会に要望(8/28)…富士・富士宮両市長等とともに県庁で川勝県知事、鈴木すみよし副議長に本年度中の開通と取り付け道路の整備を要望しました!



夏季防災訓練で市災害対策本部に(9/1)…本部内の議長の席につきました。市職員だけでなく国交省、自衛隊からも応援職員が入り、新たな災害情報システム等の訓練を行いました!



富士市の未来を考えるシンポジウムに登壇(9/24)…細野代議士、小長井市長、鈴木すみよし県議とともに、20年後の富士市のに向け、私は持論の「富士市立大学構想」を提案しました!



駿河台三丁目初めての「秋まつり」開催(10/29)…熱中症対策、準備期間の確保等を踏まえ、従来の「夏まつり」を「秋まつり」に、内容も世代交流型に変更し、第1回目としては大成功!



久しぶりにコロナ前規模の「商工フェア」(11/4)…天候に恵まれましたが「とにかく暑い」夏の日の中、市内の様々な店舗が出店し多くの人で賑わいました。人気の「ほうじ茶ラテのっぽ」!



「フレイル予防」をテーマにした議会報告会(11/7)…保健福祉委員会では、介護状態にならないようにするための自分自身、家族、地域、行政の役割は?について意見交換しました!



消防まつり(11/12)…防火ポスターコンクールの表彰式では、議長賞の賞状授与の役目をいただきました。どれも「火事の恐ろしさ」、「ちょっとした気の緩み」に訴える優秀作品です!



田子の浦ポートフェスタ(11/19)…田子の浦港に親しんでもらうイベントです。帆船も来港しましたが、私は東日本大震災でもフル稼働した海上自衛隊の輸送艇に乗せてもらいました!



鈴木澄美県議会副議長就任祝賀会(11/29)…川勝県知事を始め市内外から300名の方が出席。私は発起人の一人として出席。この人脈を活かし県政・地元の発展にますますご活躍を!



吉原高校避難所開設・運営訓練(12/3)…4年ぶりの訓練でした。マニュアルを確認しながら、各班の任務を訓練しましたが、引継ぎができなかった3年間の空白の大きさを実感しました!